



「家庭の危険箇所について」

乳幼児の子どもは、大人と一緒に環境で過ごしています。しかし、子どもの身体・運動能力は大人と異なる為、身の回りのものが、事故の危険原因となりうります。まずは、家庭の中の危険箇所を見てみましょう。

ベランダ・窓・階段

- 転倒・転落・・・網戸によりかかる、カーテンに巻き付く、ベランダから身を乗り出して落ちる。(高層階は要注意！)
- 誤飲・窒息・・・ブラインドのひもが首に引っかかる、観葉植物等の土を口に入れる。
- やけど・・・夏場高温になった手すりを触る。
- その他・・・窓やドアに指を挟む。

ポイント→ 踏み台になるような物を近くに置かないようにし、窓を簡単に開けられないよう安全グッズを使用する等、注意しましょう。

リビング・ダイニング

- 転倒・転落・・・ソファから落ちる、絨毯で滑る。
- 誤飲・窒息・・・たばこの吸い殻、ゴミ箱に捨てたものを口に入れる等。
- やけど・・・ライターで遊ぶ、ストーブの周りでふざける、テーブルのポットを倒す等。
- その他・・・テーブルの角に頭をぶつける、クロスを引っ張って物が落ちる、扇風機に指を入れる等。

ポイント→ 滑り止めやカバーを付ける、手の届かない所に置く等して、子どもの行動に目を配りましょう。

寝室・子ども部屋

- 転倒・転落・・・ベビーベッドから落ちる。
- 誤飲・窒息・・・小さなおもちゃやボタン電池等を口に入れる。
- やけど・・・アイロンや照明器具等に触れる。
- その他・・・タンスの引き出しやドアに手を挟む、コンセントに細いものを差し込む。

ポイント→ 柵をつける、使用後は、すぐに片付ける、安全グッズを使用する等工夫しましょう。

キッチン

- 誤飲・窒息・・・小さな食材(ミニトマト等)をのどに詰まらせる、ビニール袋を頭に被る、防虫剤を口に入れる。
- やけど・・・炊飯器の水蒸気、使用後のトースター、コンロの鍋・グリル等に触れる。
- その他・・・包丁・はさみ等の刃物での怪我。

ポイント→ キッチンには危険なものが多いので、手の届かない所に収納する、入らないように柵をする等気を付けましょう。

自宅の中の怪我の発生場所

- 1位：リビング
- 2位：ダイニング
- 3位：キッチン
- 4位：階段

子どもの目線で確認してみましょう！！

風呂場・洗面所

- 転倒・転落・・・風呂のタイルで滑る。
- 誤飲・窒息・・・風呂の水で溺れる、洗濯洗剤を口に入れる。
- その他・・・歯ブラシを口に入れたまま歩く。

ポイント→ 浴槽内の湯は抜いておき、入れないようにドアをしっかり締めておく等しましょう。